

## 体験活動参加型+講演会型+子育てサロン型(保育園)

学校名等	市橋保育園
実施日時	令和5年1月12日(木)9:45~11:20
会場	市橋保育園 ゆうぎ室
参加人数	27名(園児13名保護者14名)
学習課題(分野)	親子で楽しい!絵本のお話&ワークショップ(家族の大切さ)
運営者の願い	子どもたちが園でどんなふうに絵本を楽しんでいるかを知っていただくことでお家で保護者の方にも絵本を楽しんでほしい!という願いと、「自分で考える時間」を楽しみながら制作する大切さを感じられる時間を提供したいと考えた。

### 学習の内容

#### <取組内容>

- ・講師に子どもの本専門店メリーゴーランドの重盛ペンギンさんを迎え、親子で絵本の読み聞かせとワークショップを体験する。
- ・お家でどんな絵本を選んだらいいのか?どんな読み聞かせ方がいいのかなどに質問に答えながら絵本について講演していただき保護者同士の交流も図る。
- ・おやつ時間を設けて、親子で友だちと交流をもてるように計画していたが、コロナウィルス対応により変更し、お菓子をお家でかぞくのみなさんで食べていただくように持ち帰ることにした。
- ・ワークショップではテーマを「かぞく」とし、講師にアドバイスをいただきながら家族を思い浮かべて顔を描き、おうちに見立てた作品を作っていく。
- ・親子で家族について話す機会にする。また、友だちにも完成した作品を見せながら家族の紹介をする。



#### <実践終了後>

- ・講師は園で「あそびじゅつ」という時間を担当していただいているの方なので、普段から保護者の方も子どもたちから講師や「あそびじゅつ」の話聞いて興味を持って参加していただけました。
- ・絵本は園のものに加えて、講師が何冊か持参し紹介してくださったので、子どもと一緒に楽しむ時間となった。
- ・ワークショップでは、きちんと作ることも自分で考えてやってみる。うまくいかない時は、また考えてやってみる。大人は手取り足取りの援助ではなく、そんな姿を大切にしながら、大人も楽しみ、絵を描くことやはさみやテープを使って制作をするって楽しいね!という思いを共感できる時間にしようという講師の提案通り、親子で考えて制作して楽しい時間となった。

#### <参加者の感想>

- ・子どもの園での姿が見られてよかった。講師の話ちゃんと聞いてたり、制作時に友だちとペンの貸し借りが出来ていたり順番を待ってたりとお家では見られない様子が知れて嬉しかったです。
- ・制作ってきちんと作らなきゃと思っていましたが、自由な発想を大切にして、のびのび取り組むことを体験して、自由でいいんだと感じました。
- ・絵本って、なんでもいいとか好きなものを選んでいただけ、もう少し内容を見たり子どもがどんな風に聞いてくれるのかなとか考えたりして選んでみようかなと思いました。
- ・普段はなかなか時間があわない保護者さんともお話ができて有意義な時間になりました。



#### 親子で家族を思う時間

制作をするときに、家族の顔を描きましたが、親子で顔を思い浮かべて、「笑うとこうなるよね」「眼鏡はこんなだった?」など、普段あまり話さない会話ができ、親子で家族を思う大切な時間になりました。

子どもたちも、作品を友だちに見せる時やお家に持って帰って家族に見せる時に、いろいろ家族を思いながら話ができたと感じます。